

2015年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	情報学科						
科目名	プログラミング言語						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年次後期		
必修・選択の別	必修科目(ネットワークコース) / 選択科目(ソフトウェアコース)						
担当者	中村貞吾						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・有限オートマトンの定義と動作を理解している。 ・非決定性有限オートマトンを等価な決定性有限オートマトンへ変換できる。 ・正則表現と有限オートマトンの関係について理解している。 ・文脈自由文法と言語に関する基本的概念を理解している。 ・プッシュダウンオートマトンによって、文脈自由言語が受理されることを理解している。 						
日程と内容	2015/09/15(火) 第1回：導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法、数学的準備 2015/09/29(火) 第2回：決定性有限オートマトン(DFA) 2015/10/06(火) 第3回：非決定性有限オートマトン(NFA) 2015/10/13(火) 第4回：NFAとDFAの等価性 2015/10/17(土) 第5回：正則表現 2015/10/20(火) 第6回：FAと正則表現の等価性 2015/10/27(火) 第7回：状態数最小化 2015/11/10(火) 第8回：文脈自由文法(CFG) 2015/11/17(火) 第9回：プッシュダウンオートマトン(PDA) 2015/11/24(火) 第10回：CFGとPDAの等価性 2015/12/01(火) 第11回：チョムスキー標準形文法 2015/12/08(火) 第12回：言語の閉包性、非正則言語、非文脈自由言語 2015/12/15(火) 第13回：チューリングマシン、中間テスト 2015/12/22(火) 第14回：全体のまとめ 2016/01/12(火) 第15回：期末試験 2016/01/19(火) 第16回：期末試験の解説						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	30%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	いずれの授業到達目標についてもおおむね達成した。						
反省点	昨年度は合格率が45%と非常に悪かったが、今年は、例年とほぼ同程度の合格率に回復した。合格率が回復したのは好ましいが、毎年、同様の内容・方法で実施しているにもかかわらず、年によって合格率が大きく異なっているのが課題。						
来年度の計画	今年度と同様に実施するが、内容をもう少し易くするよう検討する。						
授業評価アンケートに対するコメント	設問14の総合評価の点数が昨年よりも0.7点アップして、ほぼ全体の平均点に近づいた。評価理由が書かれていないので不明だが、合格率が回復したことによる効果であろうと考える。						
履修登録者数	23名	定期試験受験者数	20名	合格者数	14名	合格率	70%